

ワークショップ プログラム

日時：令和2年12月13日（日）
午前9時30分から
場所：本庁舎2階 大ホール西

第2次あま市 総合計画策定 市民会議



【第3回】

魅力を活かした
あま市の将来を考えよう！

プログラム

1. ワークショップの進め方説明
2. グループごとの意見交換
3. グループ別発表

担当：あま市 企画政策課

第2次あま市総合計画策定市民会議

各回テーマの概要

第1回 10月18日（日）9：30～11:30

市役所本庁舎2階 大ホール



あま市が将来どうありたいかを “言語化” しよう！

- あま市が将来どのようなになっていることを望むのか、理想を言葉に表してみましよう！
- 皆さんの夢を、自由に表現してみてください。

第2回 11月15日（日）9：30～11:30

市役所本庁舎2階 大ホール西



あま市の魅力をみつけよう！

- 市外の人に紹介したいあま市の魅力をリストアップします。
- あま市の魅力的な資源をどう活かせるのかを皆さんで考えましよう。

第3回 12月13日（日）9：30～11:30

市役所本庁舎2階 大ホール西

魅力を活かしたあま市の将来を考えよう！

- あま市の魅力を活かしたまちづくりを皆さんで考えましよう。
- 将来のあま市の姿を表現ましよう。
- 市民、地域、団体やグループ、企業、行政それぞれに何ができるのかを考えましよう。

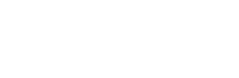
本日のタイムスケジュール（第3回）

	プログラム	時間	内容
1	開会・あいさつ	3分	市民会議会長からあいさついたします。
2	本日の進め方	7分	前回のまとめ及び本日のプログラムについて説明します。
3	グループワーク	70分	今回のテーマは、「 魅力を活かしたあま市の将来を考えよう! 」です。 3ページをご覧ください。
4	発表	15分	1グループ3分程度で、各グループから発表して頂きます。
5	投票	10分	各グループの発表を聞いて、良かったグループへの投票を行います。
6	閉会・あいさつ	5分	市長からあいさついたします。
7	集合写真撮影	5分	写真撮影を行います。
8	アンケート記入	5分	ご感想などを記入していただきます。

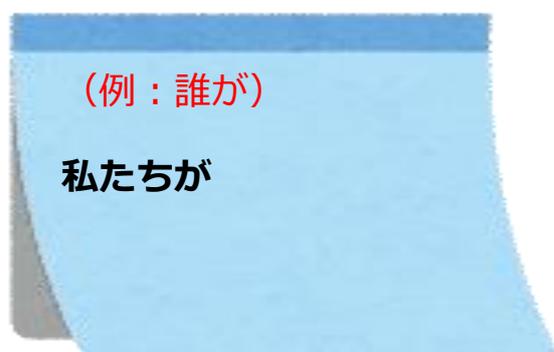
“できあがり”イメージ！

- ①: 第2回でまとめた「魅力と活用方法」から、どれを活かすかをポストイットに書いてください。
- ②: 選んだ「魅力と活用方法」を「誰が」行うかを考えて、ポストイットに書いてください。
- ③: あま市のまちづくりに対して「何をする」と実現できるのかを考えて、ポストイットに書いてください。
- ④: ①～③を行うことにより、どのようなまちになるのか。どんな良いことがあるかをポストイットに書いてください。

<できあがりイメージ>

(タイトル) : ○○○を活かしたまちづくり		Aグループ
	① どんな魅力を活かす？ 何を活用する？	
	② 誰が？	
 	③ 何をするにより	 
	④ どんなまちになるのか？ どんな良いことがある？	 

■ポストイットの使い方



- 裏面上部に“のり”！
- 1枚には1つの事柄のみ！
- 黒のサインペンで、見やすく！

グループワークに入る前に！

①ワークショップとは何？



ワークショップ（Work Shop）という言葉は、「仕事場、工作室」を意味します。Workは身体を動かすこと、Shopは自分で作ったものを公開すること、したがって、ワークショップとは、「様々な人が集まり、共同作業を通じて、何かを創り出す行為」と言えます。

本日のワークショップは、第2次あま市総合計画策定のため、あま市の将来について考えていただくきっかけにするためのものです。

②みなさんをお願い！

□ グループでの話し合いでは、次の3つの原則を守ってください。

●参加者に上下関係はありません

⇒ルールに従い、公平な関係で活発な意見交換をお願いします

●お互いの話に耳を傾け、多様な意見を受け入れましょう

⇒頭ごなしに相手の意見を批判することはやめましょう

●ワークショップは決められた結論に導くものではありません

⇒思いつくまま、自由に意見を出してください

- 1回の発言は**1分以内**にまとめてください。
- 他の参加者が発言しているときには、発言しないでください。

第2回 第2次あま市総合計画策定市民会議のまとめ

A グループ

魅力		魅力（資源）の内容	活用方法
1	甚目寺観音	<ul style="list-style-type: none"> ・甚目寺観音での祭りがある。 ・尾張四観音の甚目寺観音 ・パワースポット ・1日、12日のマルシェ ・甚目寺のアジサイ ・甚目寺の朝市（子どもも大好き） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター等を駅に貼りだしてPRする。 ・観光&食のルートマップを作る。 ・節分の歴史や新たなイベントのPR ・朝市のお客さんに甚目寺観音に興味を持ってもらうガイド ・市内の銘店市の開催
2	たくさんの公園	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いっきり走りまわれる」アートヴィレッジの広場 ・公園の数が多い。 ・景色がきれいなアートヴィレッジ 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢別使用公園にする。 ・ボールで遊べるようにしたり、フェンスを高くしたり、増やしたりして、遊びの幅を増やす！ ・企業とコラボしてキャンプ場、釣り ・町の駅に提供
3	七宝焼	<ul style="list-style-type: none"> ・エルメスもツタンカーメンの青い所も七宝焼 ・七宝焼の窯元が何軒か ・天皇陛下もご訪問されたアートヴィレッジ 	<ul style="list-style-type: none"> ・七宝駅からアートヴィレッジまで来やすくなる交通や木田駅南東エリアの交通 ・周辺の店舗を増やす。 ・春と秋の文化祭はここで（出店は地元の銘店限り） ・企業に売り込む（ヴィトン、トヨタ、ポルシェのエンブレム） ・世界へ向けてアクセサリーなど新しい形 ・身近になれば（普段使い） ・市章、校章の作成
4	歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・戦国武将 ・文化の杜 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国、世界にPRできるようなイベントをする。
5	田舎でも便利	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路、名鉄電車などアクセスがいい。 ・名古屋から近い。 ・電車が10～15分に1本はあり便利 ・東西南北が分かりやすい。 ・都市や自然（山、海）が近い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域の見直し。 ・ライフスタイルの提供
6	自然が多い	<ul style="list-style-type: none"> ・都会に近い田舎 ・田園風景 	<ul style="list-style-type: none"> ・川を浄化しホテルを呼ぶ。 ・田んぼで遊べるイベント
7	伝統・食材	<ul style="list-style-type: none"> ・七宝みそ ・伝統野菜の方領大根 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育として農業体験（育てる～食べるまで） ・付加価値のついた野菜づくり ・野菜ソムリエ監修など付加価値 ・食べる機会（給食、スーパー） ・伝統野菜や食材を利用したみそ汁やみそ鍋作り
8	素朴	<ul style="list-style-type: none"> ・人が素朴 	—
9	渋い	<ul style="list-style-type: none"> ・甚目寺、カフェ、みそ、革など 	<ul style="list-style-type: none"> ・渋さを発信

Bグループ

魅力		魅力（資源）の内容	活用方法
1	名古屋に近い	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋駅から 15 分と近く、自然が多い。※近郊田園都市実現 名古屋に電車 1 本で行けること。 名二環、東名阪、新幹線（将来リニア）など交通アクセスがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ベッタタウンとして発展していく？ 駅までの巡回バス 七宝駅をあま市中心のあま市駅にする。 休日に名古屋の人があま市で遊んで、あま市に沢山来てもらう。 あま市の目玉を作り、PRする。
2	発展途上の市	<ul style="list-style-type: none"> 地形が平坦。 自然がいい。 住宅地と自然（田）が両方ある。 スポーツなどがやりやすい場所がある。 公園が沢山ある。 ハイキングに行ける山が近くにある。 名古屋に近く、地価が安く、移住しやすい。 スーパーの食料品は名古屋より安い。 	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設をつくる。 住宅だけではなくて田んぼなども増やしていく。 働く場を作る。 地域の将来の姿をビジュアル化する。 他県の小・中学生に修学旅行にあま市を選んでもらえること…。 自然豊かな田園都市にする。 豊かな自然を残しながら、企業誘致できる？ 大きい公園を作る。 自然を残しつつ住宅を増やす。 あま市民病院をもっと活用する。 ※老人を大切にする病院。
3	歴史・文化遺産	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的文化がある。 甚目寺観音、郷土の英傑など歴史文化がある。 4 つの無形民俗文化財があること。 七宝焼に代表された伝統技能がある。 有名な戦国武将を輩出している歴史がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源としてPR 地域住民の気持ちの拠り所になる。 市民にも市外の人にも知ってもらう機会を作る（展覧会など）。 まず愛知県から「歴史の町 あま市」というのを広めたい。 インターネットで全世界発信 七宝焼でモニュメントを作る。 ※TVで紹介してもらう。 市民の交流に役立てる。
4	新しい風を吹き込む地域若返り	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少の中、あま市は人口が増えている。活気が残る。 外国人の方もあま市に住んでいること。 人口が減少していない。 市の規模が大きくもなく、小さくもない。 	<ul style="list-style-type: none"> あま市の映画を作る。 治安がいいことをアピール 住民の保守的な意識からの脱却 異文化交流、世代間交流 子育てがしやすい環境をつくり、ずっとあま市に住み続けてもらいたい。
5	炭次郎みたいな人	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動を積極的に行っているシニアの人たち 朝市 礼儀正しい人が多い（ように感じる）。 車の運転マナーがいいと、名古屋から来る人が言っている。 郷土愛を持っている人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 「素敵な人」をビデオで作ってPRする。 もっと郷土愛を増やせるように、沢山の交流を増やす。 市民が心豊かに過ごせるための人々の交流を大切にしたい。 インスタ映えを作る。 インスタで「#私たちのあま市」というのを若い世代に使ってもらい、全国に広める。

Cグループ

魅力		魅力（資源）の内容	活用方法
1	産業	<ul style="list-style-type: none"> ・アートヴィレッジがある。 ・七宝焼 ・天皇陛下御訪問 ・七宝焼職人がいる。 ・ハケ、ブラシ ・イルミネーション ・朝市がある（マーケットイベント） ・毎月 12 日に甚目寺観音くらしの朝市 ・毎月第 2 日曜日、甚目寺駅ロータリー ・つなぐ市場（7～9 月は土曜日夜） ・中小企業コラボ商工会 	<ul style="list-style-type: none"> ・アートヴィレッジを使った地元産業だけのお祭りをする。 ・七宝焼ならアクセOKの校則 ・七宝焼で流行に乗る。 ・人気アニメとのコラボ ・あま市まとめサイト
2	飲食	<ul style="list-style-type: none"> ・オリーブオイル ・のり ・小松菜や方領大根、かぶと米などの特産品 ・七宝みそ、しょうゆ ・モーニング ・飲食店がたくさんある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店で特産品を使ったメニューを考えてもらう。 ・調理実習で使う。 ・購買で売る。 ・名物料理を作る。 ・みそ、小松菜が、もっと地元で気軽に買えるように。 ・それぞれの専門のカフェをつくる。
3	歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史のある建物 ・飛行場跡がある。 ・漆部神社（日本唯一の漆物、塗物の神様） ・萱津神社（日本で唯一漬物の神様） ・歴史がある。利家とまつ（大河ドラマ） ・甚目寺観音（鎌倉時代～） ・節分（恵方） ・山車 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人になっても歴史を学べるツアー ・歴史スポットめぐり
4	施設	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい市役所ができる。 ・総合体育館がある。 ・大きな病院がある。 ・文化・スポーツ施設がたくさんある。 ・森が丘公園など ・美和高校と五条高校 ・三重県と岐阜県に近い。 ・濃尾平野 ・近隣とのコラボ ・名古屋まで近い。 ・名二環 IC すぐ ・名古屋駅から名鉄で 10 分の甚目寺駅 ・電車や高速道路など交通の便がよい。 ・甚目寺駅（1 日 1 万人の乗降客） ・甚目寺駅ロータリー ・甚目寺観音東門商店街 ・都会的でもなく田舎的でもない住みやすい環境 ・自然豊か ・農業 ・田んぼがたくさん ・季節が感じられる。 ・ラジオ体操 ・あまえん坊かわいい ・市長が割とシュッとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設をもっと使い方簡単に。 ・名古屋まで行くのではなく、名古屋から人を呼べるようなスポット作り。 ・スタバが出来るワクワク感と同じレベルのものを作る。 ・道の駅を作る。 ・都心の人に農地を貸す。 ・あま市ガイドツアーを市長がやる。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体がある。 ・市民の声を聞く場がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS を活用する。 ・発信力 ・SNS 活用を支援できる体制 ・甚目寺ツアー ・名所めぐり（スタンプラリー） ・あるもの同士をつなげる。 ・使う、楽しむ世代自らが作る。

D グループ

魅力		魅力（資源）の内容		活用方法
1	ほどよい田舎	利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋に近い。 ・名古屋駅まで 15～20 分くらいと近い。 ・セントレアへ名鉄だけで行ける。 ・店にあまり困らない。 ・コンビニ、ドラッグストアが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致 ・木田駅、七宝駅、甚目寺駅のダイヤに合わせたバス ・名古屋市（駅）までの市営バスを走らせる。 ・便利な田舎暮らしをキャッチコピーに誘致
		田舎系	<ul style="list-style-type: none"> ・地価が安い。 ・田んぼがきれい。 ・新鮮な野菜・静かで平和な町 ・ほどよい田舎 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの農業体験 ・田んぼを使って田んぼアートを作る。 ・あま市でとれた野菜をコンビニ等で販売する。
2	子育て支援の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童なし（たぶん） ・子育て支援 ・子どもの医療費が中学卒業まで無料 	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理を進めて若い世代に住んでもらう。 ・ボール遊びができる公園をつくる。 ・若い世代へのPR
3	PRしたい観光資源	文化	<ul style="list-style-type: none"> ・街のシンボル 甚目寺観音 ・福島正則の生誕の地 ・萱津神社 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントに市外からも来てもらう。 ・観光巡りツアーの実施 ・福島正則をもっと推して、大河ドラマの主演にリクエストする。
		食	<ul style="list-style-type: none"> ・七宝みそがある。 ・特産物が多くある。（かぶと米、方領大根など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・特産物を使った料理教室 ・七宝みそを使った料理をふるまう。 ・七宝みそのおいしい料理レシピ ・特産物を使ったインスタ映えスイーツ
		七宝焼	<ul style="list-style-type: none"> ・七宝焼 	<ul style="list-style-type: none"> ・七宝焼の体験ツアーで知ってもらう。 ・七宝焼で映えるアクセサリー作り ・七宝焼のアクセサリー、食器など SNS 受けするもの ・今流行している物を七宝焼で作る。 ・東京オリンピックに展示
4	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ラッキープラザがある。（集客） ・地域交流が盛ん 	—

